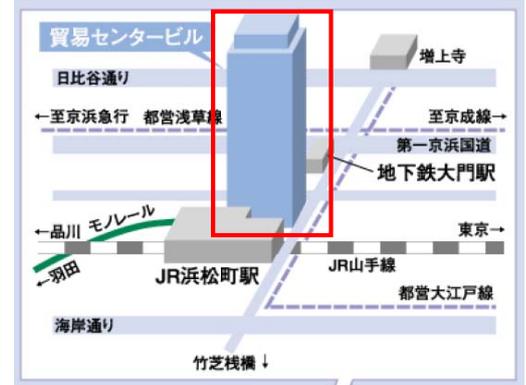




(第2期数値震動台) 数値振動台の構築を目指した 構造物崩壊シミュレーション技術の開発と統合化

■平成20年度 数値震動台研究開発分科会 研究成果発表会

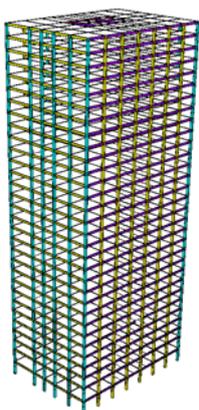
主催：独立行政法人 防災科学技術研究所
 E-ディフェンス・数値震動台研究開発分科会
 開催日：平成21年6月12日(金)
 場所：世界貿易センタービル3階 A会議室
 (東京都港区浜松町二丁目4-1)
 (入場無料：90名先着順、参加希望者は、①氏名、②所属・役職、
 ③連絡先住所・TEL・FAX・E-Mailを明記の上、6月5日までに
 担当までお申し込み下さい。)



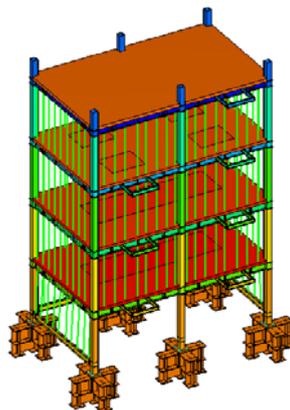
会場案内図

■プログラム

- 13:30~13:40 開会挨拶 中島正愛 (防災科学技術研究所)
- <E-ディフェンス・数値震動台開発委員会・活動概要>
- 13:40~14:40 基調講演：これからの計算力学
矢川元基 (東洋大学)
- 14:40~15:20 数値震動台研究開発分科会活動概要
堀 宗朗 (東京大学地震研)、各WG主査
- 休憩 (30分)
- <数値震動台研究開発分科会・WG活動の現状と将来>
- 15:50~16:20 PDS-FEMによる破壊進展解析
—土木RC構造の崩壊過程の解析を目指して—
小国 健二 (慶應義塾大学)
- 16:20~16:50 建築鋼構造の高度崩壊解析
大崎 純 (京都大学)
- 16:50~17:20 都市の統合地震シミュレーションとビジュアライゼーション
堀 宗朗 (東京大学地震研)
- 17:15~17:20 閉会挨拶 堀 宗朗 (東京大学地震研)



31F超高層建築モデル



4FS造実大実験モデル

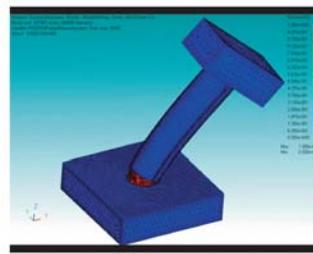


図 6.48: 動的解析での曲げ破壊 (Time: 3.5057118 s)

RC造橋脚実験モデル



都市災害シミュレーション
(東京23区都市モデル)